

「日本の経済事情」の採点結果

対象：留学生の有効受験者59名

うち90点以上	2名	よく頑張りましたね。最高点は99点です。
80点～89点	8名	気を抜かずに、これからも日本経済を勉強しましょう。
70点～79点	15名	日本経済の奥を理解するには、もうひと踏ん張りです。
60点～69点	21名	可くらいで安心しては卒業後に苦労しますよ。今後 も新聞などをよく読み、日本経済の知識を深めましょう。
50点～59点	10名	可までもう少し頑張りましょう。授業を馬鹿にしないで。
40点～49点	3名	可まで遠い道のりです。授業には真面目に出ましょう。
最高	99点	最低 41点

不 受 4名*

* 試験中、「前期末試験を受けていない人、文章題を5問とも無回答の人(ろくに授業に出ていない人)、×問題を機械的に回答した人(ろくに考えていない人)、出席率が2/3未満の人、は不受にする」と警告しました。この4名は、の条件に問題のあった人ばかりです。

試験で60点以上であれば自動的に合格、下回ってれば不合格です。

平均 67.6点, 合格率 78% (優 17% + 良 25% + 可 36%)

個人の点数を知りたい人は、**メールで問い合わせして下さい。**

(全体の印象)

問題がやさしかった割には、点数が伸びていません。近畿大学商経学部では、単位取得の要件に「**授業に3分の2以上出席すること**」があります。今回の不合格者は、この条件を厳密に満たさずに単位をとることがいかに難しいかを、よく噛みしめて下さい。

授業中に話したとおり、授業に出る・出ないについては、**皆さんが** 20歳を過ぎた**大人の判断で決める**ことです。もちろん、大人の判断には、自己責任がつきものです(責任を取れない人は未成熟な子供です)。不合格者は、採点結果を踏まえて、今後の**自らのリスク管理**をどうするか、よく考えて下さい。

もっとも、期末試験で頑張って勉強した人が多いことも確かでしょう。頑張って合格できた人は、その努力を大いに賞賛します。おめでとう。

皆さんの日本での勉学が実り多いことを、心から祈念しています。

以上

(参考)

17.8.6

(安孫子)

「日本の経済事情」前期末試験の採点結果(50点満点で採点)

対象：留学生の受験者80名

うち45点以上	2名	このまま勉強すれば優の可能性大(よく頑張りました)
40点~45点	5名	このまま勉強すれば優の可能性
35点~39点	14名	このまま勉強すれば良の可能性
30点~34点	32名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25点~29点	15名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20点~24名	10名	後期にかなり勉強しないと不合格
19点以下	2名	後期に大いに勉強しないと不合格

平均31.1点 中央値30点

(採点関連の注意点)

日本の財・サービスの輸出はGDPの1割を大きく超えますが、経常収支の黒字は数%しかありません。輸入などを引く必要があるからです。この機会に、正確に理解して下さい。

日本の輸入は、かつては「垂直貿易」といわれ、原材料や食料の輸入が全体の9割近くを占めていましたが、現在ではこの割合は半分強にまで低下しています。今では水平貿易が広がっているのです。

国債利払い費用は、「ここ数年、急速に増加している」わけではありません。確かに国債残高は急増していますが、低い金利の国債に置き換わる効果が大いなのです(実際、1999年度から2003年度まで国債費は減少しています)。もっとも、これ以上金利が下がることは考えにくいので、遠からず年々増える局面に変わると考えられます。

(全体の印象)

留学生向けに基本的な問題を出題したのですが、全体の点数が予想外に低いので驚いています。皆さんは日本経済を現場で観察する機会に恵まれている訳ですから、よく学びましょう。皆さんも、母国に帰れば日本経済通であることが期待されます。しかも近畿大学で単位を取得する以上、**意味のある解答を書けるだけの日本経済の基礎知識を身につけましょう**。こうした知識の足りない人は、母国に帰っても十分役に立ちませんよ!!

警告!：前期のままで単位を取れそうな人は66%に過ぎません。残り34%の人は、後期に心を入れ替えて大いに勉強しないと、単位を取れません。こうした人たちは、まず**後期の授業に出て集中してノートを取らないと、単位取得は難しいでしょう**(レジュメだけで高得点を得るには、かなり幅広い予備知識が必要です。私語などは論外です!!)。特に卒業や進級がかかっている人は、この機に**後期の勉強方針を真剣に考えて下さい**。もちろん、勉強せずに不合格になるのも皆さんの自由です。

以上